

第1回次世代自動車研究会セミナー

自動車の電動化/脱炭素化の動向と関連製品への影響 無料開催のご案内

大分県自動車関連企業会では、日経BP社のご協力を得て、上記セミナーを開催いたします。

CASE や MaaS と呼ばれる新しいビジネスや技術トレンドが生まれており、100年に1度とも言われる激変期を迎えた自動車業界。事実、IT企業の参入をはじめ、技術開発競争は激化しています。今後、自動車産業で生き残っていくには、新たな自動車技術の将来動向を踏まえた事業戦略が必須であり、新たな企業が参入するチャンスも生まれています。

本セミナーは、令和3年1月18日に開催した「自動車のパワートレインの今後の技術動向や課題」で、参加された皆様から希望の多かった項目を深掘りしていくものです。デンソー出身で豊富な実務経験を持つ講師が分かりやすく解説します。前回のおさらいや質問タイムもありますので、今回からの参加でもOKです。

今回のセミナーでは、世界の排出ガス・燃費規制動向を踏まえているため、パワートレインの技術動向の「本質」を把握できます。加えて、世界の主要な自動車メーカーが描く電動化展開戦略についても解説します。

事前に講師にお聞きにならねたいことがある場合には、申込書の質問事項の欄にぜひご記載いただきますようお願いいたします。

■概要

1. 各国の環境規制（排ガス、脱炭素化、ZEV）、電動化政策方針の最新動向
2. パワートレインエンジンの今後の熱効率向上技術及び軽量化素材の最新動向
 - 2-1 今後のエンジン熱効率向上技術及び軽量化素材の最新動向
 - 2-2 今後の熱効率向上技術
副燃焼室、水噴射、e-Fuel、バイオ燃料、ロングストローク、2ストロークエンジン等
 - 2-3 今後注目される軽量化素材
3. 主要カーメーカー/サプライヤーの電動化戦略
 - 3-1 電動車（48VMHEV、フルHEV、プラグインHEV、電池式電気自動車、レンジエクステンダーEV、燃料電池車（FCV）等）の動向と特徴
 - 3-2 世界（日、米、欧、中）の主要カーメーカー/異業種（IT企業）の今後の電動化戦略
4. 電動化（EV化）に関係する新規製品の動向
 - 4-1 電動車（EV化）により今後注目される新製品、システムの最新動向
e-アクセル、インホイールモータ、パワー半導体、暖房システム他
 - 4-2 車載用リチウムイオン電池の現在の取組と今後の展望
 - 4-3 次世代電動車用車載用電池（全固体電池、革新型電池）の今後の動向
5. 質疑応答

■日時 令和3年7月7日（水） 10時～15時30分

10:00～12:00 講演（途中、10分ほど休憩あり）

12:00～13:00 昼休み

13:00～15:00 講演（途中、10分ほど休憩あり）

15:00～15:30 質疑応答（事前に質問事項をとりまとめ、講師に送付）

■講師 K&K テクノリサーチ 代表 加藤克司 氏

■開催方法 コロナの感染拡大の影響により On-line での開催。

※Zoom のミーティングを使用する予定です。

※受講決定者には前日までに招待メールをお送りします。

■参加対象者 大分県自動車関連企業会 会員、協賛会員の経営者層、技術者等 20名

■申込締切 令和3年6月30日（水）

■問合先／申込先 大分県自動車関連企業会事務局（大分県工業振興課 後藤、大矢）
(TEL097-506-3274、FAX097-506-1753)

■講師紹介



講 師 ： K&K テクノリサーチ 代表 加藤克司 氏

1973 年、日本電装（現デンソー）に入社後、排ガス対策、燃費向上技術を中心とする燃料噴射装置、エンジン制御システム、エンジンや、トランスミッション、ハイブリッドシステムを含むパワートレーンシステムの開発を担当。開発室長として国内外の多くの自動車メーカー向けのパワートレーンシステムの開発・拡販活動を担当。その後、2007 年からタイの初代デンソーテクニカルセンター長を、その後は新興国向け開発プロジェクトのグループリーダーを歴任。従来の経験、知見を活かしながら、複数企業のコンサルタントや国内外の種々の講演会でパワートレーン関係テーマについて講師を担当している。